



▲参加者全員で老健利用者の前で歌を歌いました

歌って踊って人生に希望と勇気を

女性団体連絡協議会・老健を慰問

女性団体連絡協議会では、毎年クリスマスの時期、老人保健施設ケアセンターいちかわへ入居者の慰問を行っています。今回も12月21日、同会のメンバー約20人がケアセンターいちかわを訪れ入居者と共に歌や踊りを楽しみました。同会の会長・小林節子さんは「入居者の方々と一緒に楽しむことで、勇気や希望を持ってもらえれば」と話していました。また、同会ではこの日慰問と同時に手ぬぐい120本と生花を寄贈しました。

明るい社会はサンタクロースが作ります

峡南地区明るい社会作り協議会が施設を訪問

峡南地区明るい社会作り協議会三珠支部では12月21日、メンバーがサンタクロースに扮して三珠地区の保育所や社会福祉施設を訪れプレゼントを配りました。同会では毎年、明るい社会作りを目的に各施設に寄付をしていましたが、今年は、この時期ならではの子どもたちが喜ぶ方法をと考え、サンタクロースになって各施設を巡ることにしたそうです。同会ではノーポイ運動の推進や、小学校新入生に交通事故防止の黄色い帽子を配るなど社会奉仕運動を展開しています。

▶突然のサンタクロース訪問に大喜ぶ子どもたち（大塚保育所）



さんぽみち

地域の話題や情報をお寄せ下さい
総務課広報広報係 ☎ 055-272-1101

受賞おめでとう ございます

■障害者援護功労者等知事表彰
模範保護者

須藤 きみ子 氏

長年にわたり心身障害者授産施設での指導員を務め、平成22年にはNPO法人希会の理事長、翌年には就労継続支援B型事業所「きりあ」を立ち上げるなど、障害者の厚生、療育などに熱意を傾けました。また、自身が障害者の保護者であり、他の保護者の模範となっていることが評価されました。

■公益財団法人
やまなし環境財団「若宮賞」

市川三郷町消費生活研究会
(会長・遠藤 敦美 氏)

「若宮賞」は山梨県内各地で、継続的に優れた環境保全活動を行っている個人や民間団体を表彰するものです。当団体はリサイクル資源の回収や、活用指導を行いごみ減量化に取り組むほか、地域の清掃活動などを行い住みよい環境づくりに寄与していることが評価されました。

善意ありがとうございます

■㈱セルバ・サンフーズ市川大門店様より、町内小中学校の整備事業にお役立て下さいと、同店でお客様のご協力で実施した「黄色いレシートキャンペーン」での善意56,000円を町に寄付して下さいました。

「頑張る市川三郷町」 ふるさと納税制度のご案内



ふるさと納税制度へのご寄付
ありがとうございました

■佐野 涼子様（東京都北区）

■有泉 公人様（東京都国分寺市）

町外にお住まいの家族、親戚、友人などに『市川三郷町へのふるさと納税』を紹介して下さい。

町企画課企画政策係
☎ 055-272-1103

クイズに答えて記念品をゲット!

正解者 5 名の方に抽選で記念品を差し上げます。
(記念品は月によって内容が変わる場合があります。ご了承ください)

(必要事項が明記されていない場合は、対象からはずさせていただきます)

広報いちかわ みさと クイズ

《問題》

～ヒントは広報紙の中に～

市川三郷町での「がん」による死亡原因で最も多いのは次のうちどれ?

- ① 肝臓がん
- ② 肺がん
- ③ 子宮頸がん

ハガキまたはメールで、クイズの答え、住所、氏名及びペンネーム、年齢、電話番号、広報の感想や町への意見を書き〒409-3601 市川三郷町市川大門 1790-3 市川三郷町役場総務課広聴広報係までご応募下さい。

ims1790@town.ichikawamisato.yamanashi.jp
(締切) 2月16日必着

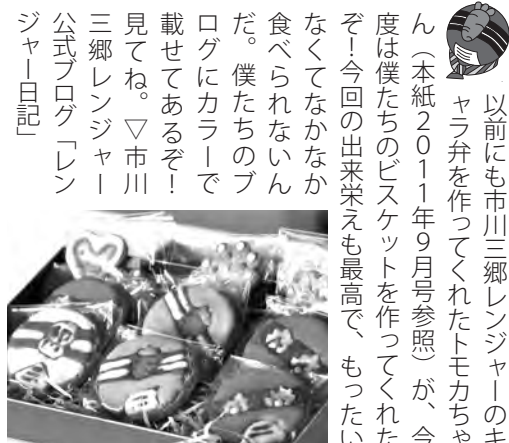


(メルアドQRコード)
対応する携帯電話などで読み取ると、本町のメールアドレスを表示します

■先月号の答え

「人口増加対策として町で新たに取組んでいる事業は？」の答えは③番の「帯那地域新築戸建て住宅建設」が正解でした。おかげさまでこの住宅にも問い合わせが何件も来ているそうです。

おめでとうございます。次の方が当選されました。記念品をお贈りします。クロちゃんママさん、渡辺はる江さん、9229さん、BECKさん、大武芳子さん



以前にも市川三郷レンジャーのキャラ弁を作ってくれたトモ力ちゃん(本紙2011年9月号参照)が、今度は僕たちのビスケットを作ってくれたぞ! 今回の出来栄も最高で、もったいなくてなかなか食べられないんだ。僕たちのブログにカラーで載せてあるぞ! 見てね。▽市川三郷レンジャー公式ブログ「レンジャー日記」



日本を明るい未来に! 新成人、力強く誓う

平成 24 年市川三郷町成人式典

1月8日、平成24年成人式が歌舞伎文化公園ふるさと会館で行われ、今年の新成人、平成3年4月2日から平成4年4月1日に生まれた166名が出席しました。晴れ着姿の新成人たちは恩師との再会などを果たし、あちらこちらで記念撮影や思い出話に花を咲かせていました。(写真上・町関係者、恩師たちとの記念写真)



新成人を代表し八木幸人さん(右)は「日本を明るい未来にしていこうことを誓います」と述べ、小池花子さん(左)は「日々精進し、一人の人間として義務と責任に真正面から向き合っていきます」と誓いの言葉を述べました。

市川三郷町・富士川町新病院設置協議会が発足



12月27日、本町と富士川町では市川三郷町立病院、社会保険鰺沢病院、峡南病院の3病院の経営統合について両町が話し合う任意協議会を発足しました。この日、1回目の会合が開かれ会の名称を「市川三郷町・富士川町新病院設置協議会」とし会長に久保眞一町長、副会長に志村学富士川町長が選出されました。任意協議会は月1～2回程度のペースで開かれ一般に公開されます。問い合わせは任意協議会事務局 ☎ 0556-22-2666 まで。

～ 離乳食教室 ～

- 【日時】2/14(火) 午後1時30分～午後4時
 【場所】市川大門町民会館2階調理室
 【対象】おおむね妊娠5カ月以降の妊婦
 お子さんが生後5カ月未満の方
 【内容】離乳食実習と試食
 【持ち物】エプロン・筆記用具・母子健康手帳
 ※参加希望者は2/3(金)までにお申し込み下さい。
 ※託児を希望される方は、申し込みの際に必ず「託児希望」とお伝え下さい。
 【申し込み・問い合わせ】いきいき健康課子育て支援係

～ リリース教室 ～

- ～子育ての楽しさや悩みを話し合ってみませんか？～
 【日時】3月2日(金) 午後1時30分～
 【場所】市川大門町民会館1階和室
 【対象】出生5カ月までの児とその母親
 【内容】乳児と母親の健康チェック
 【持ち物】母子手帳、バスタオル

～ 母子健康手帳の発行 ～

- 2/7(火) 三珠健康管理センター1階機能訓練室
 ■2/15(水) 六郷ふれあいセンター
 ■2/23(木) 市川大門町民会館1階保健室
 【受付時間】午前10時(時間厳守)
 ※発行にはおおそ2時間かかります。
 【持ち物】印鑑
 ※発行は原則として直接本人に限ります。
 ※お急ぎの方は子育て支援係までご連絡下さい。

～ 市川三郷こころの相談ダイヤル ～

☎ 0556-32-1300

(いきいき健康課内 平日 9:00～16:00)

～ ヘルスアップ教室 ～

- 栄養相談、運動指導、調理実習をセットにした「メタボ予防」を中心とした教室です。1回のみの参加も可能です。お気軽にご参加下さい。
 【対象】メタボ予防の方、スリムになりたい方
 【場所】六郷ふれあいセンター
 【日程】2/23(木)、2/27(月)〔調理実習〕、3/8(木)
 【時間】午後1時30分～3時
 (調理実習は午前10時～正午)
 【自己負担金】1回200円

～ 予防接種 ～

- 子宮頸がん予防ワクチン
 小6～高3相当の方の接種を全額助成します。
 ※H24/4/1以降の接種は全額自己負担となります。
 ■□■二種混合(ジフテリア破傷風混合ワクチン)
 ※対象者には通知しています。小学校卒業までに接種して下さい。
 ■□■三種混合(ジフテリア百日せき破傷風混合ワクチン)
 ■□■日本脳炎
 【特例対象者(H7/6/1～H19/4/1生まれの方)】
 勧奨の差し控えによって接種機会を逃した特例対象者は、20歳の誕生日の前々日までの間、不足回数分の定期接種を無料で受けることができます。
 ※特例対象者は7歳6カ月～9歳未満、13歳以上20歳未満でも定期接種を受けられます。
 ※接種を一度も受けていない方は、通常の接種間隔に沿って接種して下さい。
 ■第1期初回▷6日～28日までの間隔で2回
 ■第1期追加▷初回2回目接種後、約1年後に1回
 ■第2期▷9歳以上で1回
 ※第1期の接種が途中の場合は、6日以上の間隔をおいて残りの回数を接種して下さい。
 【通常接種(H19/4/2以降に生まれた方)】
 ■第1期▷接種対象年齢：6カ月～7歳6カ月未満(標準的な接種年齢：3～4歳)
 ▷接種間隔と回数：(初回)6～28日までの間隔で2回接種 (追加)初回2回目接種後、約1年後に1回接種
 ■第2期▷接種対象年齢：9～13歳未満
 ▷接種回数：1回
 ■□■麻しん、風しん予防接種
 【対象者】
 ◆第1期⇒1歳以上2歳未満の児
 ◆第2期⇒5歳以上7歳未満の児
 ◆第3期⇒中学1年生
 ※H24/3/31までに接種して下さい。
 ◆第4期⇒高校3年生の年齢相当の方
 ※H24/3/31までに接種して下さい。
 ☑修学旅行などの学校行事として海外に行く場合は、高校2年生に相当する方でも接種ができます。(対象者には通知しています)
 ■□■肺炎球菌ワクチン予防接種
 【対象者】▷65歳以上で初めて受ける方、または前回の接種から5年以上経過している希望者▷60～64歳で障害者手帳1級取得者)
 【料金】1回の接種につき4,000円が助成されます。差額の4,521円が自己負担になります。
 ※接種を希望する方は役場にお申し込み下さい。

こんにちは保健師です

『超高齢社会 少子化社会を乗り越えるには』

— 子ども叱るな来た道だもの、
年寄り笑うな行く道だもの —

だいぶ前のことですが、車窓から目に留まったこの言葉が、事あるごとに心に響きます。

少子高齢化社会が叫ばれ、様々な対策が講じられています。日本は終戦直後の昭和22年、平均寿命は約52歳だったのですが、今や83歳となり世界に類を見ないスピードで平均寿命世界一となりました。未曾有の超高齢者社会をどうすれば安心して生活し、「豊かな人生」を築けるか世界中から注目されています。

総人口に占める65歳以上の割合が、7%以上を高齢化社会、14%以上を高齢社会、21%以上を超高齢社会といいます。本町は31%ですので、超高齢社会といえます。

未来を担い将来を託すべく新生児の誕生は、本町では年間90人程度しかなく、子どもたちに期待したいところですが、さすがに重荷すぎます。

他人事ではなく、私たち一人ひとりの一生にかかわることです。「地域ぐるみ」で、子どものこと、若者のこと、お年寄りのこと、行く道、来た道、つないでいく道として、みんなで「豊かな人生」を築くためにできることから始めてみませんか？

例えばとなり同士で声を掛け合う、見守る。健康に過ごせるよう食事は腹八分目、十分な睡眠、億劫がらず動くなどの老化予防。また、慢心、過信せず、健康診断を受けるなど、些細なことでも幼い時からの習慣としてコツコツ積み重ねていきたいですね。

人生の主役は町民全員です。町では住みやすく『豊かな人生』をおくるためのお手伝いとして、情報提供や健康診断の機会を用意するなど、知識や技術の提供をすることで一緒になって取り組みます。一人ひとりの心がけと、住民の参画による組織活動で、みんなで障害を乗り越え、『豊かな人生』を築き上げていきましょう。

「子ども」も「お年寄り」も自分自身なのですから。

(保健師・一瀬礼子)



～ 乳児・幼児健診 ～

■□■ 4カ月児・7カ月児健診

【とき・場所】2/7(火) 三珠健康管理センター

【受付時間】午後1時～1時30分

【対象】平成23年7月、10月の出生児

【持ち物】母子健康手帳、バスタオル

■□■ 10カ月児・13カ月児健診

【とき・場所】2/16(木) 三珠健康管理センター

【受付時間】午後1時～1時30分

【対象】平成23年1月、4月の出生児

【持ち物】母子健康手帳、バスタオル

■□■ 2歳児歯科健診 ⇨ 全地区の方対象

【とき・場所】2/21(火) 三珠健康管理センター

【受付時間】午後1時～1時30分

【対象】平成21年12～平成22年2月の出生児

【持ち物】母子健康手帳、問診表、普段使用の歯ブラシ

■□■ 3歳児健診 ⇨ 三珠・市川大門地区の方対象

【とき・場所】3/1(木) 市川大門町民会館

【受付時間】午後1時～1時30分

【対象】平成20年11～平成21年1月の出生児

【持ち物】母子健康手帳、問診票、尿スティック、普段使用の歯ブラシ

■□■ 5歳児健診 ⇨ 三珠・市川大門地区の方対象

【とき・場所】2月17日(金) 市川大門町民会館

【受付時間】午後1時～1時30分

【対象】平成19年1月～4月1日の出生児

【持ち物】母子健康手帳、問診表、普段使用の歯ブラシ

■対象日に都合がつかない方は、いきいき健康課子育て支援係までご連絡下さい。



妊婦さんにやさしい環境を

このマークをつけている方がいたら、席を譲ったり、近くでの喫煙を控えるなど配慮をお願いします。

～ 母親学級 ～

※場所はいずれの回も市川大門町民会館

■2回目 2/10(金) 午後1時30分～

【内容】楽なお産のための妊婦体操とリラックス法

【持ち物】母子健康手帳、1回目配布したテキスト

■3回目 2/24(金) 午後1時30分～

【内容】お産の時の呼吸法、お産のリハーサル 他

【持ち物】母子健康手帳、テキスト

■4回目 3/2(金) 午後1時30分～

【内容】子どもの育て方(沐浴指導、オムツの当て方)

【持ち物】母子健康手帳、バスタオル